

令和元年6月定例会一般質問表

6月5日、6日、7日

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	4 番 船 山 利 美 議 員	<p>1. ふるさと納税について</p> <p>(1) ふるさと納税は平成20年に施行され、度々一般質問で意見や提案をしながら見守ってきた。その後、返礼品等の在り方については年々過熱するなど様々物議を醸しマスコミを賑わしてきたが、制度変更等で異常なまでの還元率や家電製品等は排除されてきた。</p> <p>一方、返礼品の多様化や競争激化する中、ポイント付きギフト券や旅行券が人気を集め、数百億円という当該自治体の年間予算を超えるような寄付額もあり、総務省は趣旨に反する過度な返礼品競争をルール違反として問題視し、自治体名を公表するなどペナルティーを含めて規制強化している。このような状況から「改正地方税法」が成立。総務省は「ふるさと納税指定制度」を創設し「返礼品は寄付額の3割以下の地場産品」を基準として6月1日から施行された。税額控除を受ける場合は「総務大臣が定める基準に適合するもの」また「指定を受けようとする都道府県等は申出書を総務大臣に提出しなければならない」となっており、厳しく規制されている。</p> <p>以上の状況を踏まえ何点か質問する。</p> <p>① 「基準に適合しなくなったと認める場合等には、指定を取り消すことができる」となっているが、本市において3割以上や地場産品以外のもの等についてしっかり検証されているか。</p> <p>② 複数のポータルサイト活用による効果について。</p> <p>③ 返礼品の規制により全国の地方自治体が同じ条件となる訳で、必要な量の確保等の対応は充分か。また、戦略等についてはどうか。</p> <p>④ 使い途については以前から様々提案してきたが、一般的取組みとなったクラウドファンディング型を考えてみてはどうか。</p> <p>以上についての見解をお伺いする。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	4 番 船 山 利 美 議 員	<p>2. 道路交通網にともなう交流人口拡大への取組みについて</p> <p>(1) 去る4月13日に本市にとって高速交通網の幕開けとなる、待望の東北中央自動車道 南陽高畠 I C～山形上山 I C間が開通した。</p> <p>期待される効果として国道13号の渋滞緩和、交流人口拡大、物流効率化による特産品の安定的輸送、更には山形、福島、仙台の南東北エリアの県都が高速道路で結ばれ、様々な分野で大きな期待が予想される。また、東日本大震災以降、災害時の物流機能強化などを目的として新潟山形南部連絡道路ともなっている国道113号バイパスの梨郷道路も着実に工事が進行しており、開通すれば新潟へのアクセス向上で更なるネットワーク拡大に繋がり、早期の完成が待たれる。</p> <p>一方で、本市は主要な2本の道路を結ぶ要衝の地として、置賜の中でも恵まれた状況となっており、市長も常々話されている交流人口拡大、地域経済の活性化、観光振興、インバウンド誘致の効果など、うまく活用すれば様々な効果をもたらす地域活性化のチャンスとして期待も膨らむが、素通りの道路では宝の持ち腐れになってしまう。</p> <p>以上の状況を鑑みて質問する。</p> <p>① 高速交通網がもたらす効果についての見解は。</p> <p>② 恵まれた条件を活かした交流人口拡大への具体的取組みなども必要と考えるがどうか。</p> <p>③ 都市圏等へ「南陽」名称の統一を図るべき推進が必要と思うがどうか。 (例：赤湯温泉→南陽赤湯温泉、赤湯駅→南陽赤湯駅)</p> <p>以上についての見解をお伺いする。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>1. 持続可能な開発目標（SDGs）の取組みについて 国連加盟国が2030年末の達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」について全国の自治体や民間企業などでその理念を施策等に取り入れる動きが見られる。 また、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略2018改訂版」でも、自治体におけるSDGsの達成に向けた取組みの推進が示されており、近隣自治体の中にはSDGs未来都市に選定されている自治体もあるような状況となっている。 このような状況の中で、本市の今後の取組みについて伺う。</p> <p>(1) SDGsが掲げる17の分野について本市でもその理念を施策や事業に取り入れる考えがあるか。</p> <p>(2) SDGs未来都市は2018年6月15日に認定されているが、その際に本市では未来都市認定に向けた取組み（チャレンジ）はされていたのか。</p> <p>(3) 地方創生SDGs官民連携プラットフォームには、現在259の自治体が加盟しており官民の情報共有化や連携強化が図られている。 本市でも、この流れに遅れることのないように加盟を急ぐ必要があると考えるが、加盟に向けての考えはあるか。また、考えがある場合は現状の取組状況について伺いたい。</p> <p>(4) SDGsの推進に向け具体的な取組みを行ってれば、現在の状況と、今後の展望を伺いたい。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	1 番 山 口 裕 昭 議 員	<p>2. 子供の屋内遊戯場について</p> <p>昨年6月議会で子供の遊び場について拡充の考えがないか質問を行ったが、その際には近隣自治体に同様の施設が整備されているため「現状では子育て支援の中で子供の屋内遊戯場は優先度が低い」「広域的な相互利用が望ましい」との答弁をいただいた。</p> <p>しかし、現に子育て世代の市民からは「休日、子供を遊ばせる場所が不足している」との声は非常に多く、市内での子供の遊戯場へのニーズは逆に高まっていると考える。</p> <p>このことを踏まえ何点か質問を行う。</p> <p>(1) 子供の屋内遊戯場について現在市内にある施設について伺う。</p> <p>① 施設数</p> <p>② 施設の対象年齢</p> <p>③ 施設の利用状況</p> <p>④ 施設の運営費（維持管理を含む）</p> <p>(2) 市長は、昨年の6月議会の答弁で「子育て支援施策の中で遊び場問題は優先度が低い」また、「近隣自治体との広域的な相互利用が望ましい」と答弁された。</p> <p>しかし、先般子供の幼児教育・保育の無償化の本年10月より実施が正式決定され、今まで、市が「3人っ子政策」の柱として行ってきた「3人目の保育料無償化」が、国の施策となり、本市の優先度の高い子育て施策の一つが実現するに至った。</p> <p>このことを踏まえても、今後子供の屋内遊戯場拡充についての考えはないか再度伺いたい。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>1. 31年度施政方針について</p> <p>(1) 【健康】のまちづくり 安心して生活しやすい環境づくりとして、消防団を中核とした地域防災力の充実強化のため、「消防団活性化対策整備事業」や「消防団装備整備事業」等を実施するとあります。</p> <p>25年・26年の豪雨災害から、まもなく5年の年月が経過しようとしております。国・県・当局の迅速な対応により、河川の護岸工事や橋梁工事も進んでおりご努力に感謝申し上げます。</p> <p>25年・26年の各定例会において、先輩各議員より災害対応についての一般質問がなされておりますが、当局答弁のその後の進捗や新たに検討いただくべき課題について質問をさせていただきます。</p> <p>① 消防団について</p> <p>ア. 団員確保見直しを含めた定数検討の進捗</p> <p>イ. 処遇（地方交付税基準と市基準の乖離要因・夏服の支給）</p> <p>ウ. 災害の補償（自動車損害見舞金支給事業と各種補償の範囲）</p> <p>エ. 「やまがた消防団カード」の活用</p> <p>② 吉野川上流に雨量計の設置が必要 下流地域における河川の状況判断には、上流の雨量に注目して予測することが重要と思います。復旧工事と合わせて観測所を増設していただきましたが、残念ながら雨量計が小滝地区にしか無い状況です。白鷹山の海拔は994[㍉]、市役所は海拔228[㍉]となっており、766[㍉]の高低差があり、水流も早く、早期の判断が要求されます。レーダー雨量を活用するよにとの指摘もありますが、瞬間雨量の把握しかできません。積算し、累計雨量を推定することが最も重要です。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>このためにも、上流部のきめ細やかな雨量観測が必要です。荻地区への設置が適所と考えますが、当局のご見解を伺います。</p> <p>③ 水防の広域化について 水防事務組合は、地方自治法に基づき複数市町村で構成し共同で水防事務を処理する組織で、いわば広域消防の水防版といわれています。検討の有無についてお尋ねします。</p> <p>(2)【産業】のまちづくり 中小企業や小規模事業者の方々は、「経営者の高齢化」、「人手不足」、「人口減少」という3つの構造変化に直面しております。 経済産業省では、これらの構造変化に対応するため ①「事業継承・再編・統合等による新陳代謝の促進」 ②「生産性向上・人手不足対策」 ③「地域の稼ぐ力の強化・インバウンドの拡大」 に重点的に取り組むとしています。 加えて、今年10月の消費税率引き上げや、2020年4月の長時間労働規制、そして2021年4月の同一労働・同一賃金の中小企業への適用を見据え、 ④「経営の下支え、事業の環境整備」 に引き続き粘り強く取り組むとしています。 これらに関する事業予算は、31年度において大幅に伸びています。当市において事業を営まれている事業者の方々にもぜひ利用していただきたい補助金もありました。(受付は終了している事業が多い) 当局で把握している状況をお尋ねします。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	5 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 介護マーク・耳マーク・ヘルプマークについて</p> <p>「介護マーク」は、介護家族から「認知症の外見では介護していることが分かりにくいいため、誤解や偏見を持たれて困る。介護中を表示するマークを作って欲しい。」との要望で、静岡県で全国初めて作成された。</p> <p>「耳マーク」は、自分の耳が不自由であることを表します。また、このマークを掲示することで、耳の不自由な方から申し出があれば、必要な援助を行うという意味表示を示すもので、市役所のすべての課を始め、様々な所で掲示されている。</p> <p>「ヘルプマーク」は、内臓疾患を抱えているなど、助けが必要でも外見ではわからず、辛い思いをしている。このマークを付けることで援助を得やすくするために東京から生まれ、全国に広がっている。</p> <p>この三つのマークは、当該者の自己表示とともに、配慮や支援を必要とする「助け合いのマーク」でもあると思います。</p> <p>次の点についてお伺い致します。</p> <p>(1) 今後、介護マークの導入をどう考えておられるのか。</p> <p>(2) これらのマークの普及や理解を広めるため、どのようなことをされているのか。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
4	5 番 山 口 正 雄 議 員	<p>2. スマートインターチェンジと産業団地について</p> <p>4月13日待望の東北中央自動車道、南陽高島ICから山形上山IC間が開通し、福島市、山形市、仙台市が結ばれました。</p> <p>これにより、観光誘客、交流人口の拡大、産業振興に大いに寄与することが期待されます。また、災害時における緊急輸送や救急医療活動など暮らしの安全・安心にもつながります。</p> <p>市長も「本県の縦軸を成す高速交通がつながり、人や物の流れが一段と加速する。高速交通のメリットを最大限生かし、産業振興や広域観光の推進元年として、多角的に推進していく」と力強くコメントしておられます。</p> <p>高島町、上山市も産業団地を整備し、企業誘致活動を強力に推し進めようとしております。</p> <p>本市も、スマートインターチェンジを誘致しようと、勉強会を始め、間もなく1年を迎えようとしておりますが、取り組み状況が見えてきません。</p> <p>次のことについてお伺い致します。</p> <p>(1) スマートインターチェンジ設置に向けた現段階の取り組み状況及び実現するためのトータル的な構想をどのように考えておられるのかお伺い致します。</p> <p>(2) スマートインターチェンジの実現には早くて7～8年かかると言われておりますが、それは設置実現までの年数なのか、或いは、準備段階調査に採択されるまでの期間なのかお伺い致します。</p> <p>(3) スマートインターチェンジは本線接続、PA接続のどちらを念頭に置いておられるのか。また、近隣の産業団地候補地の広さ、地盤、国道13号へのアクセス等については問題なくクリアできるのかお伺い致します。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	11番板垣致江子議員	<p>1. まちづくり、観光について</p> <p>(1) 公衆トイレのあり方について</p> <p>すべての女性が輝く社会づくり推進室の政府広報で「くらしの質」向上検討会から、快適な暮らしへの転換の象徴としてトイレが着目され、女性が暮らしやすい空間、心の豊かさをもたらすようなトイレ空間へとシフトしていく必要があると提言されている。快適、清潔、安全なトイレ空間を取り上げることで防災や国際貢献、地方創生などの重要課題にも生活実感のあるメッセージを発信可能であり、特に観光地での快適なトイレ空間には集客力があり、観光客誘致や移住促進にもつながるとされている。先進的な自治体ではさまざまな工夫をこらした取り組みが進められており、そうした好事例も紹介され、取り組みの一層の定着が望まれている。たとえば、長野県ではトイレがきれいかどうかで観光地の印象は大きく変わるとの考えで「信州まごころトイレプロジェクト」として観光地の公衆トイレを外国人、女性、高齢者、子供など全ての観光客が快適に利用できるような事業に取り組んでいる。</p> <p>南陽市も東北中央自動車道の開通により、多くの観光客が期待されているが、南陽市の公衆トイレ環境はどうか。最近建設された公共施設を除いては築年も古く、和式のみや「汚い」「臭い」「暗い」、これはトイレの3Kと言われており、これに「怖い」「壊れている」が足されると5Kということですか。このような公衆トイレも多いのではないのでしょうか。一般家庭のトイレは、ほとんどが洋式かつシャワートイレになっている昨今、利用する観光客の目線からすれば、また来たいとの思いになるのでしょうか。最近特に観光地や高速道路のトイレなどは機能ばかりでなく、リラックスできるおもてなしの心が感じられる空間づくりに変わってきているのが現状です。南陽市も公衆トイレのあり方を検討すべきであり、特に観光客や市民が頻繁に利用するトイレは緊急を要するのではないのでしょうか。市長のお考えをお伺いします。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	15 番 佐 藤 明 議 員	<p>1. 深刻さを増す日本経済と南陽市の状況、実態は。</p> <p>(1) 5月20日発表された1月～3月の国内総生産（GDP）速報値は、輸入の大幅な減少により計算上はプラス0.5%（年率換算プラス2.1%）となりました。しかしGDPの約6割を占める個人消費がマイナス0.3%、輸出がマイナス2.4%とそろってふるわず、日本経済が縮小していることをあらわにしました。一方、13日に内閣府が発表した3月景気動向指数は、前月からマイナス0.9ポイント下がり、景気の基調判断は13年1月以来、6年2ヵ月ぶりに「悪化」となりました。景気動向指数は今年に入ってから下方への局面変化に引き下げられ、さらに今回「悪化」へ一段と下方修正されました。景気動向指数で基調判断を示すようになった08年4月以降、「悪化」としたのはリーマンショックと重なる08年6月～09年4月と第2次安倍内閣の発足前後の12年10月～13年1月の2回であります。自民党の萩生田光一幹事長代行が、7月発表の日銀短観などで示される経済情勢次第で消費税増税を延期する可能性もあり得るとの認識を示すなど、10月からの消費税増税の中止や延期を求める声が政権内部にもくすぶり始めています。基調判断「悪化」の発表を受け、菅官房長官は「リーマンショック級の出来事が起きない限り、10月に引き上げる。全く変わっていない。」と述べ、火消しに躍起になっています。</p> <p>安倍政権が景気は「緩やかに回復している」との立場に固執している根拠の一つが、日銀の景気判断です。日銀の黒田総裁は4月25日の記者会見で、中国が実施する減税などの巨額景気対策を期待して「世界経済は年後半に成長が加速する見通し」と述べています。ここで重要なのは、今回の景気動向指数が3月時点の景況を判断したものだということです。GDPの速報値も3月までの数字を積み上げた結果です。その後、大方の予想をくつがえして米中貿易摩擦が再び激化し始めたのは5月以降です。日銀の判断も米中貿易協定の重大な変化を織り込んでいません。貿易摩擦の激化が日本に波及して起こる本格的な悪化はまさにこれからと言わざるを得ません。</p>	市長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	15 番	<p>日本国内でも「リーマンショックに近いことになる」(日本電産会長)などと危機感を表明する経営者が続いています。日本経済と世界経済の現状を見通せば、今やるべきことは、国民のふところを温め内需を拡大して日本経済の足腰を強くする真の経済対策です。それに真っ向から逆行する消費税の10%への増税は、きっぱりと中止すべきではないでしょうか。白岩市長のご認識、ご見解を賜りたいと存じます。</p> <p>(2) こういった状況の中、市内の中小零細企業、商工業、労働者等の状況と実態は。</p> <p>(3) 今後の見通し、支援策は。</p>	市 長
	佐 藤 明 議 員	<p>2. 南陽市重要要望事業について</p> <p>(1) 南陽市は毎年国や県の関係機関に対し、重要要望事業として、H27年度23項目、H28年度24項目、H29年度26項目、H30年度25項目、H31年度26項目の要望を提出しております。どの程度実現されているのか。</p> <p>(2) 継続事業は。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
7	6 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>1. 高齢者の運転免許証返納後のサポートについて</p> <p>4月13日東北中央自動車道が南陽高畠ICから山形上山IC間が開通となり、先の大型連休中には、県内外から多くの車両が各方面へ移動されました。おかげで、国道13号は比較的スムーズに移動できるように感じます。この東北中央自動車道の開通は、通勤時間帯等の渋滞緩和にも寄与しているものと思います。しかし、交通の便が良くなった反面、一般道でも悲惨な交通事故も多く発生し、尊い命、特に子供が巻き込まれる事故が目立ちます。交差点や横断歩道での前方不注意、コンビニエンスストアへの直進事故など、事故を起こす原因は多々あるにせよ、事故を起こした年齢層の多くは65歳以上の高齢者の占める割合が多く、パニック状態により危険回避行動がとれず、アクセルとブレーキの踏み間違いの急発進や体調不良、また、逆走行など。過日、池袋で87歳の男性が運転する乗用車が暴走し、10人が死傷した事故。また、神戸市で横断歩道にバスが突っ込むなど、75歳以上の高齢ドライバーの死亡事故の割合が増えているとの統計もあります。</p> <p>国は、17年施行の改正道路交通法で、75歳以上に違反時や免許更新時に認知機能検査を義務付け、その際、認知症と診断されると免許取り消しや停止の対象となります。本市において、高齢者への免許証返納を進めておりますが、実情では、生活の足として、日常生活で車は欠かせません。そのため、必要不可欠なものとして、免許証の返納には抵抗感もあり、躊躇しているのが実態ではないでしょうか。返納した後、一時的な特典はあるものの、その後のサポートをどうするのか今後の課題でもあると思います。以上の観点から質問いたします。</p> <p>(1) 沖郷地区で試験運行されたデマンドタクシー事業は、大変好評であったとのデータがありました。今後の持続、継続への取組みについて伺います。</p> <p>(2) 交通空白地域の解消の取組みについて伺います。</p> <p>(3) 高齢者の免許証返納後、その先のサポートについて伺います。</p> <p>(4) 児童を巻き込む、高齢者運転による事故が多発している事について、改めて交差点や歩道など危険箇所点検も必要と思いますが、当局の考えを伺います。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	6 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>(5) 教育現場では、夏休みが待っていますが、休み期間中の事故防止に関する注意喚起として、どのような対応をされるのか伺います。</p> <p>2. 観光戦略について</p> <p>(1) 東北中央自動車道が開通し、平成から令和に元号も変わり、色々な意味で各観光地や道の駅などに相当、県内外からの人的、物的交流が盛んとなりました。本市において、どのような経済効果があったのか、また、これからどのようにして多くの観光客を呼び込むのか、その工夫や戦略など検討されているのか伺います。</p> <p>(2) 交通の利便性が良くなった分、本市を素通りする車両も多い。これから「さくらんぼ」などの観光果樹園も始まり、そこに呼び込む努力は、生産者はもちろん、行政の後押し、PRが不可欠であります。当局としてどのように取組んでいるか伺います。</p> <p>(3) 過日、ワインフェスティバルが開催され、多くのワイン愛好家が集い、各ワイナリーで提供されたワインを楽しまれた。 ひとつの市で6か所のワイナリーがあることは、全国的にもめずらしく、それを本市は誇りとして南陽市を強くPRしていくことも戦略としてとても有効だと思います。その点の取組みや対応、検討について伺います。</p>	<p>市 長 教 育 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p>

